

第4回お出かけ今昔館～空堀の路地と長屋を巡る旅

空堀という地名は、水の溜まつてない「空の堀」に由来し、豊臣大坂城の南総構堀があつたところと言われています。江戸時代には瓦づくりの土の採取地として利用され、江戸中期から市街化が進み、明治には商店街として発展しました。大阪市中心部の多くが戦災で焼失した中、空堀一帯は奇跡的に被害を免れ、長屋や路地といった戦前からのたたずまいを残しています。

2000年代初めからは長屋再生も盛んになり、その動きは現在も続いています。新しい取り組みも生まれており、長屋再生の先進地域とも言える存在になっています。

今昔館には昭和13年の地蔵盆の日を再現した「空堀通-商店街・路地・長屋-」が展示されています。現地での実測調査や聞き取り調査、資料調査(古写真、航空写真、文献)によって、町並みだけでなく、人々の暮らしや生業が詳細に再現されています。

「空堀の路地(ろーじ)と長屋を巡る旅」では、この模型を手がかりに明治・大正・昭和へと続く空堀の住まいと暮らしの歴史を読み解いた後、現在の空堀界隈を歩き、今に残る生活文化の痕跡を体感します。



2026年
3月8日(日)

参加費
無料

小雨
決行

プログラム(予定)

12:30	受付
13:00	開会
13:05	解説 空堀地区の路地と長屋文化について 案内人が解説します
14:00	鑑賞 関連資料を鑑賞します
14:30	探索 空堀界隈を歩いて探索します
15:45	交流 小グループに分かれて語り合い 感想・気付きを共有します
16:30	閉会・解散

会場 大阪ガス実験集合住宅 NEXT21(2階)



大阪市天王寺区
清水谷町6-16

谷町六丁目駅7番出口より徒歩5分

定員 20名(応募者多数の場合は抽選)

申込 QRコードまたはURLより



締切 2026年2月20日(金)

<https://forms.gle/QCT7wrBfTnkvid3x6>

※先着順ではありません。

後日、登録いただいたメールアドレス宛にご連絡いたします。

(案内人) 増井正哉



大阪くらしの今昔館館長
京都大学・奈良女子大学
名誉教授。都市史、歴史遺産の保存・活用が専門

(コメンテーター) 谷 直樹



大阪市立大学名誉教授
大阪くらしの今昔館前館長
日本建築史、生活文化史、博物館学が専門

(協力)

空堀まちなみ井戸端会



共催：大阪くらしの今昔館、大阪ガスネットワーク(株) エネルギー・文化研究所(CEL)
協力：大阪ガス実験集合住宅 NEXT21

包括連携協定に基づく
共催事業になります。

問合せ：大阪ガスネットワーク(株) エネルギー・文化研究所 担当 小西 TEL:06-6205-2366 (平日9:00~17:00)